
スーパーロボット対戦J アナザーワールド

アルトアイゼン・リーゼ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパーロボット対戦J アナザーワールド

【Nコード】

N9362X

【作者名】

アルトアイゼン・リーゼ

【あらすじ】

これはもしも統夜とカティア、メルア、フェステニアが家族で3人娘が統夜にメロメロで統夜が苦勞人という設定だったらどうなるのか？
そんな思いから書きます

「兄さんおはよ・・・」

そこに居たのは俺の二人の妹
フェステニアとメルアがいた

「お姉ちゃん!!!お兄ちゃんに何やってるの!!!?」

「何って?抱きついてるの」

「ずるいよ!!!私も!!!」

と言って真正面には姉

両サイドから妹に抱きつけれる俺・・・

「あのさ・・・弁当と朝ごはん作らなきゃいけないんだけど・・・」

「そんなの後々」

「お兄ちゃん//////////いい匂い//////////」

「ああ・・・洗い立ての布団より気持ちいい//////////」

・・・俺は女難が途轍もなく高い

なぜなら姉と妹達が凄まじいまでのブラコンで

姉は高校2年

妹達は中学3年だが

未だに俺と結婚すると言っている

「いい加減に離れなかったら・・・俺

皆の事嫌いになるよ?」

俺がそういうと3人は身体を震わせ涙を流す

「ごめんよおお・・・お願いだよ統夜ああ・・・」

「私を嫌いにならないでよおお・・・」

「ごめんなさいごめんなさい・・・」

「判ってくれたら良いよ」

俺は3人から離脱し弁当と朝ごはん作りに着手する

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9362x/>

スーパーロボット対戦J アナザーワールド

2011年10月26日03時07分発行